

Newsletter: 日本音韻論学会 (PhSJ)

第 29 巻第 2 号 (通巻 85 号)

2025 年 7 月 16 日

学会創設 30 周年記念号出版企画

2026 年に日本音韻論学会は 30 周年を迎えます。30 周年を記念して、会員のみなさまから広く音韻論に関わる原稿を集め、記念論集を出版しようと考えています。2025 年 9 月までに執筆意思を確認し、2026 年 3 月に原稿を締め切り、2026 年 9 月に出版する予定です。2025 年 9 月 30 日までに以下のフォームから執筆の意思をご表明ください：

<https://forms.gle/TayxdFTT9qP8rHNL9>

2025 年度春期研究発表会報告

去る 5 月 17 日 (土)、2025 年度春期研究発表会が福岡大学とオンラインのハイブリッドで開催されました。学位取得者講演 1 件と一般発表 5 件が行われました。会場での参加者は 20 名、オンラインでの参加者は 35 名でした。有意義な研究発表に対し、活発な質疑応答がなされました。開催に際しまして、ご尽力いただいた関係者の皆様に、改めて感謝申し上げます。

第 29 回会員総会報告

5 月 17 日 (土)、春期研究発表会終了後、第 29 回会員総会が開催されました。会員総会での報告事項および審議事項は以下のとおりです。

記

1. 2024 年度活動報告がなされた。
2. 2024 年度会計報告及び監査報告がなされ、承認された。
3. 『音韻研究』第 28 号の編集報告がなされた。
4. 2025 年度活動計画が発表された。
5. その他
 - 1) 新執行部・新理事・新事務局・新顧問・新監事の承認がされた。
 - 2) 音韻論フォーラムへの一般発表募集について説明があった。
 - 3) 『音韻研究』第 28 号の一般投稿の募集について説明があった。
 - 4) 日本音韻論学会 30 周年記念本の原稿募集について説明があった。

2025 年度韓国音韻論・形態論学会への派遣について

5 月 24 日 (土)、2025 年夏期韓国英語学会・韓国音韻論・形態論学会合同学術大会が韓国ソウル大学で行われ、本学会からは橋本大樹氏 (上越教育大学) を講師として派遣しました。演題は以下の通りでした。

Daiki Hashimoto, L2 phonetic imitation as a lens to learn mental representations of L2 learners

音韻論フォーラム 2025 開催

音韻論フォーラム 2025 が中央大学とオンライン (Zoom) で下記の通り開催されます。海外研究者による基調講演 3 件 (Péter Szigetvári 氏、Bert Vaux 氏、James Whang 氏)、学位取得者講演 2 件 (浦底理恵氏、高城隆一氏)、一般研究発表 13 件 (口頭発表 7 件、ポスター発表 6 件) と、充実した内容となっております。また、言語系学会連合との共催企画「生成音韻論の‘現在’：日本語研究の最前線から」があります。

日時：2025 年 8 月 26 日 (火) ～27 日 (水)

会場：中央大学とオンライン (Zoom)

参加費 一般会員：¥1,000 一般非会員：¥2,000
学生 (非会員を含む)：¥500

懇親会費 一般：¥6,000 学生：¥3,000

今回の音韻論フォーラムは事前登録制とさせていただきます。参加をご予定の方はイベントページ Peatix を通じてお支払い下さい。以下のリンクから参加登録、参加費のお支払いをよろしくお願い致します。

<https://peatix.com/event/4492941/view>

『音韻研究』第 29 号論文募集

『音韻研究』では、春期研究発表会・音韻論フォーラムでの発表原稿の他に、一般の投稿論文も募集しております。いずれのカテゴリーも投稿者の名前を伏せて審査され、掲載の採否が決定されます。会員の皆様の積極的な投稿をお願いいたします。投稿方法は以下のとおりです。

記

- ・投稿方法：Microsoft Word で作成したファイルとそれを PDF ファイルにしたもの各 1 通、さらにそれぞれのファイルから氏名・所属・謝辞などを削除したもの各 1 通の計 4 通を、下記の編集担当理事まで電子メールで送付する（ただし、謝辞の有無については自由とする）。ファイル名は「PS29（氏名）」とする。電子媒体で投稿不可能な場合は、事前に編集担当理事もしくは学会事務局まで連絡する。
- ・同一著者による論文の掲載は各号で 2 編以内とし、このうち筆頭著者としては 1 編とする。
- ・分量：8 頁を原則とする。
- ・書式の詳細については学会ホームページ、あるいは、『音韻研究』最新号の巻末に記載された執筆要領をご覧ください。
- ・書式を守っていない、あるいは期限に間に合わない応募原稿は無効となりますので、くれぐれもご注意ください。
- ・締切：2025 年 10 月 20 日（月）必着

投稿・連絡先：溝口愛（編集担当理事）
E-mail: oninkenkyu29[at]gmail.com
([at]を@に置き換えてください)

旅費の補助について

本学会では、若手研究者への支援を目的として、研究発表会やフォーラムの遠隔地からの発表者かつ、非有職者（学生や非常勤講師等）の会員を対象に旅費の補助を行います（一人上限：国内 2 万円、海外 5 万円）。応募者に対する審査と補助額の算定は事務局で行います。希望される方は奮って研究発表会ならびにフォーラムの発表にご応募下さい。

『音韻研究』の購入方法

学会からの配布以外に『音韻研究』の購入を希望される会員は、会員特別価格で購入可能です。また、『20 周年記念論文集』（2016）についても、特別価格で購入可能です。ともに、ご自身で直接開拓社にお申し込み下さい。その際、送付先、氏名、必要な号の番号、部数とともに、日本音韻論学会の会員であることをお伝え下さい。折り返し、開拓社より出版物と振込用紙が送られることになっております。詳しくは、開拓社にお問い合わせ下さい。

また、勤務校の研究室・図書館などに、もう 1 冊、研究費等による『音韻研究』の定期購入を御検討のほどよろしくお願いいたします。

開拓社出版部
〒112-0003 東京都文京区春日 2-13-1 芳文堂ビル 6F
TEL: 03-6801-5651（代表）
FAX: 03-6801-5663

E-mail : kawata[at]kaitakusha.co.jp
([at]を@に置き換えてください)

会費納入のお願い

日本音韻論学会は、会員の皆様からの「会費」により運営されております。会費納入にご協力下さいますよう、お願い申し上げます。

E-mail 末尾にある数字を参考にして、会費を納入願います。印字された数字のうち 4, 5 は、それぞれ 2024, 2025 の各年度の会費が未納であることを意味します。アスタリスクは会費納入済みであることを、括弧付きの数字はその年度の会費が不足していることを意味します。また、t は thousand の意味で、[5t]とあれば 5,000 円会費が未納、または不足していることを意味します。たとえば、「*5[5t]」と印字されていれば、2025 年度の会費が未納であり、その総額が 5,000 円であることを意味します。

ご確認の上、未納の会費を以下のとおり郵便振込で納入していただきますよう、お願いいたします（『音韻研究』送付時に学会名および口座番号印字の振込用紙を同封いたしますのでご利用ください）。

郵便振込
口座番号：00180-6-402077
加入者名：日本音韻論学会
他行から：ゆうちょ銀行〇一九（ゼロイチキユウ）店（019）当座 0402077
年会費 維持会員：10,000 円
通常会員：5,000 円
学生会員：4,000 円

維持会員は、本会を格別に支援して下さる会員です。**年会費 1 万円を納入することにより、どなたでも維持会員になることができます。**維持会員をご検討、ご希望の方は**事務局会計**までご連絡ください。維持会員の申請が執行部で承認されましたら、追って当年度の維持会費 ¥10,000 の請求書をお送りします（メール添付にて）。

また、会員情報（住所、所属、連絡先）が変更になった場合は、必ず**事務局会計**にご連絡下さい（学生会員から通常会員へ変更となる場合なども必ずご連絡下さい）。連絡されないままにされますと、Newsletter や『音韻研究』等の配布物が正しく配送されませんのでご注意願います。

～～～日本音韻論学会事務局～～～

【事務局長】

橋本大樹（上越教育大学）
〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町 1
上越教育大学
TEL：025-521-3327
E-mail: daiki[at]juen.ac.jp

【会計】

植田尚樹（東京外国語大学アジア・アフリカ言語
文化研究所）
〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1
東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
TEL：042-330-5655
E-mail: ueta_naoki[at]aa.tufs.ac.jp

【書記】

大沼仁美（東北学院大学）
〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋 1-3-1
東北学院大学 文学部
E-mail: honuma[at]mail.tohoku-gakuin.ac.jp
※E-mail アドレスは、[at]を@に置き換えてください。

日本音韻論学会ウェブサイト：<http://www.phsj.jp>

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～